

健保だより おげんきですか

周知健保発457号

立教学院健康保険組合

令和5年度収支予算の決定報告 ～介護保険料率が下がります～

立教学院健康保険組合の令和5年度収入支出予算が、去る2月24日(金)に開催された第181回組合会において承認され、決定しました。令和5年度は一般勘定は保険料率を改定せず70%を維持しますが、介護勘定は保険料率を16%に改定した予算編成となりました。その概要は以下のとおりです。なお、「令和5年度収入支出予算書」につきましては、各部署に回覧でお送りしておりますのでご覧ください。

令和5年度予算

一般勘定 : 15億4,054万円
 介護勘定 : 2億4,733万円
 保険料率 : 一般 : 70% 介護 : 16%

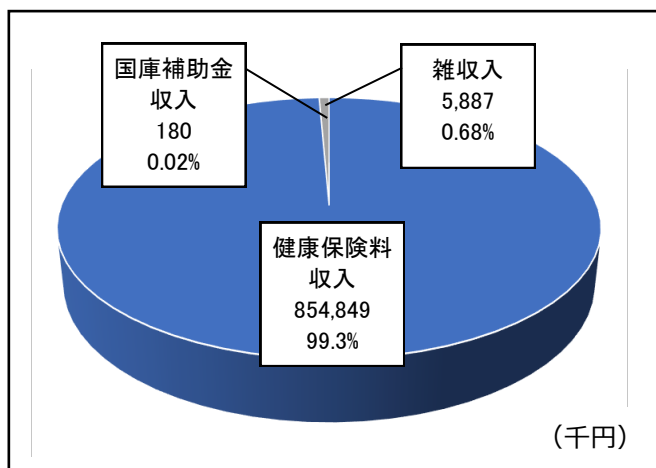
一般勘定の予算概要 ～経常収支で赤字予算～

令和5年度は保険料率を改定せず、引き続き70/1000といたします。平成25年4月徴収分から、従来の保険料率である50/1000を70/1000に改定して以降、一貫して同率を維持しております。経常収入支出差引額は、-7,952万円と赤字予算となりますが、不足分は前年度予算からの繰越金を充当し賄う予定です。

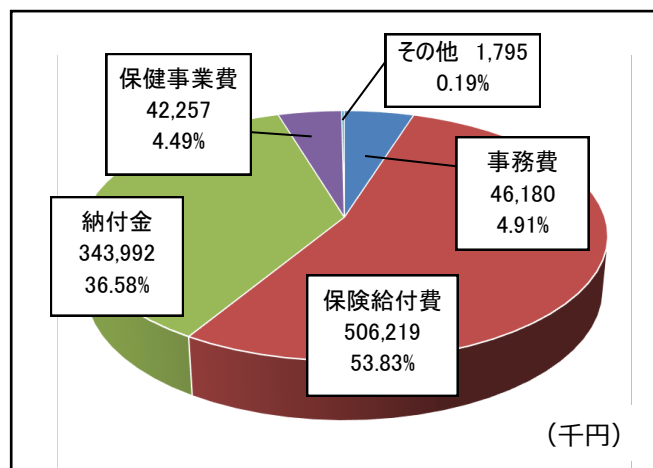
令和5年度
 一般勘定収支予算
 算定基礎数値

○年間平均被保険者数 1,320人
 ○被扶養者数 1,076人
 ○扶養率 0.83人
 ○平均年令 47.21歳
 ○年間平均標準報酬月額 587,563円
 ○保険料率 70 / 1000

令和5年度 経常収入



令和5年度 経常支出



457号目次

令和5年度収支予算の決定報告	P.1-2
健保運営の健全化の取り組み / 令和5年度の事業変更点	P.3
短期人間ドックについて / 短期人間ドック : オプションについて / 禁煙サポートプログラムについて	P.4-5
ウォークラリーのご案内 事務局からのお知らせ : 就職が決まったら / 開室時間のご案内	P.6



おもな収入

健康保険組合の収入のほとんどは、健康保険料です。今年度は、8億5,483万円が見込まれます。

おもな支出

健康保険組合の支出のほとんどは、医療費の支払い、健診などの保健事業費用、全国の高齢者の医療費を支えるための納付金（拠出金）として使用されています。

●保険給付費

医療機関にかかったときの窓口自己負担（1～3割）以外の医療費は、保険給付費として健康保険組合が負担しています。また、出産や傷病時の各種手当金なども保険給付費に含まれます。コロナ禍で医療機関への受診控えが続いていましたが、令和5年度は例年並みに回復することが見込まれ、また法定の出産育児一時金が42万円から50万円に増額されるため、4,000万程増額して5億6,211万円を計上しました。保険給付に要する保険料率（所要財源率）は39.30/1000となります。

●保健事業費

みなさまの健康づくりを推進するための費用として、4,226万円を計上しました。「第2期データヘルス計画」に基づき、各種の保健事業を実施いたします。

●各種納付金（拠出金）

令和5年度は、65歳から74歳の方の医療費（前期高齢者納付金）及び75歳以上の方の医療費（後期高齢者支援金）等として3億6,9万円を国に拠出します。納付金に要する保険料率（所要財源率）は27.57/1000となります。

介護勘定の予算概要

介護保険料率は、その前提となる令和5年度の保険料徴収対象額（厚生労働省より通知される当該年度の介護納付金）に、法定の積立金を考慮して設定することとなります。

ここ数年の介護保険料率の改定により繰越金が増加し、法定の積立金保有率も100%を超えているため、介護保険料率を20/1000から16/1000に引き下げることにしました。ただし、介護納付金は令和2年度から全面総報酬割となって年々増加傾向にありますので、今後も繰越金との兼ね合いで、毎年、介護保険料の見直しをしています。

令和5年度
介護勘定収支予算
算定基礎数値

○年間平均介護第2号被保険者数	1,136人
○上記中の保険料徴収対象者数	920人
○年間平均標準報酬月額	639,978円
○保険料率	16 / 1000



<納付金の全面総報酬割>

各種納付金のうち、後期高齢者支援金や介護納付金は、加入者割（加入者の人数に応じて算出する方法）から、段階的に総報酬割（加入者の所得に応じて算出する方法）部分が増え、後期高齢者支援金は平成29年度から、介護納付金は令和2年度から全面総報酬割となっています。これにより、当健保の納付金額は増大しています。

●介護納付金額の推移（令和2年度から全面総報酬割）

	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5
介護納付金 (千円)	95,172	149,825	164,324	173,497	174,398

健保運営の健全化の取り組み

厚生労働省からの指導に基づき、健全な事業運営のために引き続き下記の取り組みを行っています。
皆さま方におかれましても、健康に留意され、限りある医療費の有効活用を心がけていただくよう、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

- 被扶養者の加入手続きの際は、扶養認定基準に基づく資格調査を行い、健康保険組合加入者の適正化を図ります。
- 接骨院等における柔整療養費の受診照会、及び長期受診者への受診調査を行い、保険適用外の受診を無くし、柔道整復施術療養費の適正化を図ります。
- 「医療費のお知らせ」発行により、保険証利用により発生した医療費の総額をお知らせします。

令和5年度の事業変更点

【健保独自サイトの開設】

立教学院健康保険組合では、令和5年6月に独自サイトを開設する予定です。（以下、立教健保専用サイトと呼称。）順次、現在の健保サイト（立教SPIRIT内）から機能を移行してまいります。変更点については、「おげんきですか」等にてご案内いたしますので、今後のお知らせにご留意ください。

【医療費のお知らせ】

3ヶ月毎に年4回お送りしてまいりました医療費通知「医療費のお知らせ」は紙ベースによる通知を廃止し、今後は立教健保専用サイトにてご確認ください仕様となります。

【各種補助金の申請】

令和5年度申請分から、申請書類および受給方法が変更となります。申請書類の様式とともに、現在の健保サイト（立教SPIRIT内）に掲出しております各種補助金についての「ご案内」をご確認ください。

<対象となる補助金>

契約保養所利用補助金、婦人科検診補助金、脳ドック補助金

変更点① 申請書類が変わります！

- ・申請書への押印が廃止されます。（但し、自署が必要。）
- ・委任状が必要となります。健保サイトからダウンロードし、申請書と合わせて健康保険組合にご提出ください。

変更点② 受給方法が変わります！

- ・勤務員の方は各事業所を介した受領方法となります。大学所属の方は給与合算、小中高所属の方は事業所から振込の予定です。
（現金手交および領収印は廃止となります。）
- ・任意継続被保険者の方は、現金手交または任継加入時に申告の口座へ振込となります。
（現金手交の場合は、保険証の提示と領収印が必要となります。）

変更点③ 申請受付開始日が変わります！

- ・**5/1**～受付を開始します。（利用対象期間は4/1以降で変更ありません。）

短期人間ドックについて

当健保の契約医療機関において人間ドックを受ける場合、自己負担金額を超えた受診費用を当健保が負担いたします。対象の契約医療機関一覧は、健康保険組合のサイトでご確認ください。

⇒ <https://spirit.rikkyo.ac.jp/kenpo/health/>

対象者 : 40歳以上の被保険者、
40歳以上の被保険者の被扶養している配偶者ならびに親
自己負担金 : 20,000円/1人

【短期人間ドック：予約から受診まで】

短期人間ドックの予約と受診までの流れは、次のとおりです。受診日の2週間程度前までに、自己負担金（2万円/1人）を健康保険組合事務室にて支払い、人間ドック受診票を受け取ってください。人間ドック受診当日は、当健康保険組合の保険証と人間ドック受診票を忘れずご提示ください。

予約をする

【人間ドック契約機関一覧表から選択し、ご自身で医療機関に予約】
一覧は健康保険組合のサイトにてご確認ください。

予約の際、「立教学院健康保険組合の被保険者」であること、
あるいは、「立教学院健康保険組合の被保険者の被扶養者である配偶者（ならびに親）」であること、を医療機関に必ずお伝えください。

予約の後は

健康保険組合に「予約内容」を連絡する。

健康保険組合への連絡内容

- ・受診者名（保険証記載の氏名）
- ・受診機関名
- ・受診日

★オプション検査については、
連絡不要です。

医療機関から問診票・検査キットが自宅に届く。

受診の

約2週間程度
前までに

健康保険組合窓口で自己負担金（2万円）を支払い、引き換えに受診票を受領。

問診票に回答し
必要な検体を
事前に揃える。

受診当日

医療機関窓口にて、健康保険組合が発行した受診票を提出して受診。
（問診票、検体を持参。保険証を提示。）

【短期人間ドック：オプションについて】

短期人間ドックでは、各医療機関の用意している各種オプションをご希望に応じて追加することができます。（オプション費用は自己負担となります。）ご希望のオプション検査がある場合は、人間ドックご予約時に追加してください。人間ドックオプションの補助については以下のとおり実施しておりますのでご利用ください。

【婦人科オプション】

子宮頸がん・乳がんの検診オプションを付ける場合、婦人科検診補助制度により、その費用を健保が負担いたします。

（上限1万円まで、実費。）

1万円までは、健診当日の費用負担はありません。

【脳ドックオプション】

脳ドックとして実施される下記の検査について、健保では脳ドック補助金の制度により、その費用を健保が負担いたします。（上限2万円まで、実費。）

人間ドック費用をお支払いの際に「脳ドック受診票(兼脳ドック補助金申請書)」に支払証明の記入・押印を受け、後日健保にご提出ください。

●対象となる検査：頭部CT（頭部断層撮影）、頭部MRI（頭部断層撮影）、頭部・頸部MRA（頭部血管撮影）、頸動脈エコー

禁煙サポートプログラムについて

健康保険組合では、禁煙による健康増進および受動喫煙防止対策の一環として、禁煙補助剤（ニコチンパッチ）による禁煙サポートプログラムを実施しています。ご希望の方は、健康保険組合サイトにある「禁煙補助剤申込書（兼）確認票」にご記入のうえ、健康保険組合までお申込みください。

【実施概要】

対象者：禁煙外来を受診していない被保険者

申込方法：「禁煙補助剤申込書（兼）確認票」を健康保険組合に提出
（書式は健保サイトよりダウンロードしてください。健保窓口・学内便・郵送のいずれも方法でも受理いたします。）

申込期限：令和6年1月31日まで

補助内容：禁煙補助剤（ニコチンパッチ）6週間分（17,000円相当）を配布
（1年度1回）

注意事項：●禁煙の成否によらず、必ず「禁煙取組結果報告書（レポート）」を提出いただきます。提出がない場合には全額自己負担となります。

●申請総額が年度予算に達し次第、受付終了となります。

●禁煙補助剤は、ご自宅に発送いたします。

●サポートが必要な場合には、健康保険組合までご連絡ください。



ウォークラリーのご案内

「いつでも・どこでも・ひとりでも」そんな手軽さが魅力のウォーキング。ウォーキングは有酸素運動の中でも身体への負担が少なく、骨粗鬆症や動脈硬化を防ぎ、うつ病や認知症などの予防にも効果的と言われています。

当健保のウォークラリーは、**1日8,000歩を3ヶ月**継続して歩くことを目標に、毎日の歩数を記録していただく方式です。毎日8,000歩以上を3ヶ月間完歩された方には、健康グッズ等の完歩賞を差し上げています。

(対象) 被保険者および被扶養者である配偶者

(実施期間) 令和5年4月～令和6年3月末

(申込方法) 健保サイトより申込書をダウンロードし、ご記入の上、健保にご提出ください。

(記入方法) 期間中、毎日の記録を「ウォークラリー記録表」に記入してください。

(完歩したら) 期間中、毎日8,000歩以上を完歩できたら、歩数を記録した「ウォークラリー記録表」を健保にご提出ください。ご希望のコース別完歩賞を差し上げます。

★「ウォークラリー記録表」は実施期間内（3月31日まで）に健保にご提出ください。
★参加申し込みは、おひとりにつき年度内1回のみです。完歩賞の申し込みも同様となります。

令和4年度の
完歩賞の一例

- ・フィットライフコーヒー（トクホ）
- ・薬用ホットタブ重碳酸湯
- ・収納便利な救急セット など

事務局からのお知らせ

【就職が決まったら】

就職や引っ越しなどで被扶養者の条件を満たさなくなったときは、被扶養者から外す手続きが必要です。必要書類を添付して「被扶養者（異動）届」を提出してください。例年、4月は学生の卒業とそれに伴う就職などで、手続き漏れが多くなっております。忘れずに、各事業所の人事担当まで提出をお願いいたします。

【健康保険組合 開室時間のご案内】

窓口対応時間 月曜～金曜：9時～17時（土曜、日曜、祝日：閉室）

尚、大学の季節休業期間中には時間変更がございますので、順次、「おげんきですか」にて周知いたします。

<お手続きの際には>

健康保険組合窓口をご利用の際には、加入資格確認のため保険証をご提示いただけますようお願いいたします。交付保険証を健康保険組合事務室にて受領（再交付を含む）の際には、運転免許証やパスポートなど、公的本人確認書類をご提示いただいております。

発行日：令和5年4月1日

発行：立教学院健康保険組合

〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-34-1

立教大学池袋キャンパス 学院事務棟アネックス3階

TEL:03-3985-2760 FAX:03-3985-2866

URL:<https://spirit.rikkyo.ac.jp/kenpo/>

★本文で使用の「保険証」とは、当健保発行の「健康保険被保険者証」を指します。

健保からのお知らせ・サービスのご案内等は「おげんきですか」でご案内します。どうぞ毎号ご家族皆様でご覧ください。次号は令和5年6月1日発行予定です。